

SANSHIN GROUP
Monthly Report on the CSR
Jun.2017

INDEX

1. サンシングループの経営理念とCSR
2. 管理会計をもちいた経営戦略
3. TOP MESSAGE
4. グループ社員による今月のつぶやき
5. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
6. サンシングループの企業行動基準
7. 未来形から問題を解決するソウレンホウ
8. CSR Report (品質)
9. CSR Report (環境)
10. CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers

We're loved by our customers

*Always be a Virtuous **Shonin***

Virtue as a Shonin

It is important for us to have Virtue as a *Shonin* in order to secure our customers' approval and support at all times.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステークホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

管理会計をもちいた経営戦略



TOP MESSAGE

光と影、表と裏、善と悪、禍と福・・・物事には二面性が存在する。人間がつくりあげたこの二面性は調和（完全なる均衡）が保てれば戦わずにすむのだが、人それぞれが備え持つ価値観の違いから現実的には調和は成しえない、、、。大気汚染問題に苦しむ中国ではエコカーの販売が急増しており、政府は補助金支給を設定しさらなる普及を促している。一方で、この政府補助金を狙いエコカーを販売したように見せかけ、補助金を不正に受け取る業者も後を絶たないという。この二面性のイタチごっこの辿り着く先に安心した生活があることを願うばかりである。

SANSHIN DENKI COO・CFO
SHIN KOWA/CSI COO
加来 孝

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

クールビズの季節になりました。クールビズとは2005年から環境省が推進している運動の事です。その目的は「節電と地球温暖化対策」で、主にエアコンの使い過ぎを防ぐ目的で始まりました。電気を作る際に二酸化炭素が発生し、これが地球温暖化の原因の一つとなっています。エアコンの「推奨温度設定28度」を意識し、涼しい服装で夏を乗り切りたいと思います。

SANSHINWest

会社だけでなく家でのエコに気をつかわれていますか？私は最近アフター5でもエコに気をつかうよう心掛けています。クーラー暖房は控える、使用しないときは電化製品のコンセントを抜くなど家でもエコ活動を行っています。地球温暖化が問題となっている中、こうした一人一人の小さな意識が大切だと感じます。

SHINKOWA

ジメジメする梅雨の季節が近づいてきましたが、雨の降る日が少なく清々しい気候で過ごしています。梅雨時期に雨が降らないと夏になって水不足などが心配されますので、雨も降ってもらわないと困りますが、自然に対して適度とは無理なことです。今から無駄な水の使用を控えたりまた、大雨時の注意も必要と思っております。

CSI

セブは雨期になります。曇り空が多く雨が良く降り、すっきりした天気の日が少ないので風邪を引かないように気を付けております。雨水排水工事の土管が無造作にあり車線を潰しているのが渋滞も起きています。早く終わって欲しいと願っています。

SANSHIN HongKong

To avoid the "heat exhaustion" in hot summer, Chinese used to drink "Chinese Herb Tea", e.g. "Five Flower Tea", "Chrysanthemums Tea" and "Ginseng Tea" to ease the body heat and we better turn on the "Fan" and "Air conditioner" together when we just step in the "hot room", after the room temperature cool down, we just keep the fan on and turn off the "Air conditioner" to save the power.
Thank you very much for your attention,

SC2

気温が高くなってきて、ペットボトルの水などを持ち歩くことが増えてきました。便利だけれど環境負荷も高いペットボトルですが、最近これに代わるユニークな発明が！それは「食べられるウォーターボトル」。海藻で作られたピンポン玉サイズの「あんこ玉」のようなものです。ネットに写真がありますので検索してみてくださいね。

SHINTO

神戸港のコンテナヤードで、猛毒の火蟻（ヒアリ）が100匹以上発見されたそうです。海を越えて入国してしまったのでしょうか、100はちょっと多いですね...気候の変化もあり、日本でも繁殖できてしまうのかもしれない。皆さん、見たことのない虫には充分ご注意を！万が一刺された場合は速やかに病院を受診しましょう。

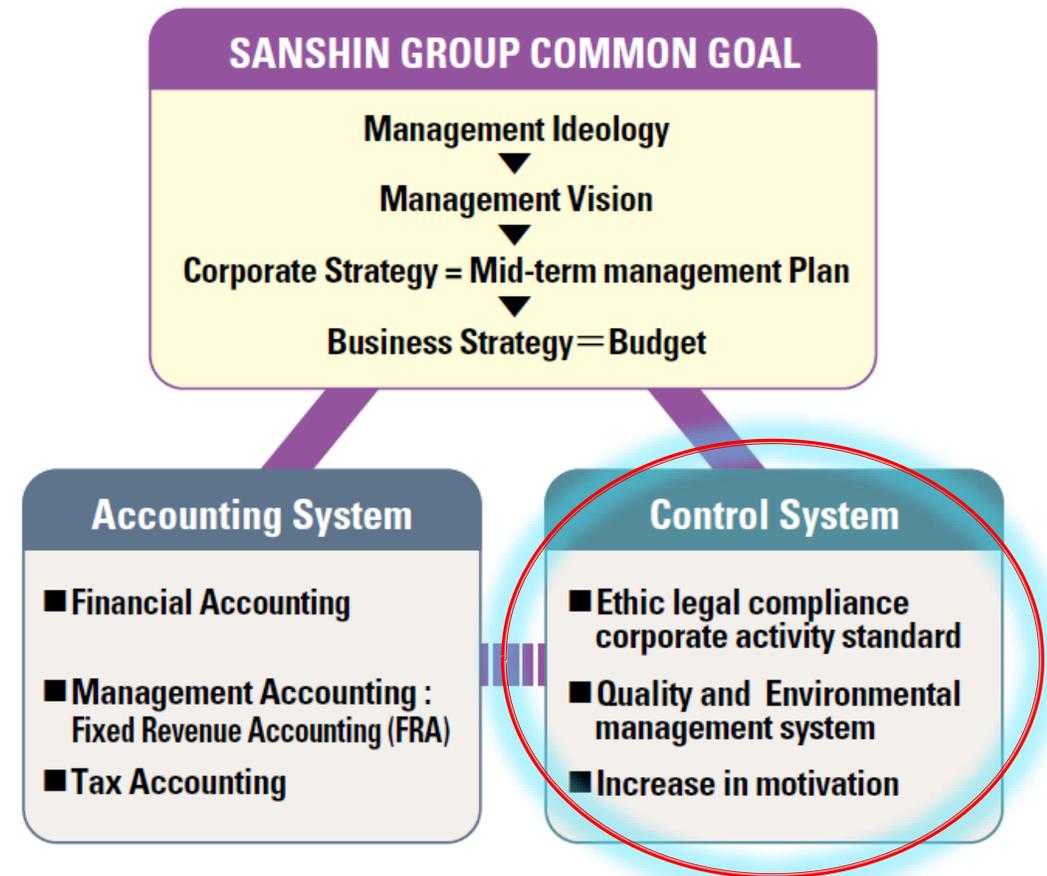
SFS

夏至を過ぎ、湿度も気温も高い日が多くなってきました。熱中症対策にスポーツドリンクや水を摂ることも多いですが、嫌いであれば甘酒もお試ください。飲む点滴と言われる甘酒は夏の季語でもあります。昔の人はよくわかっていたのですね。今年は冷やし甘酒をオヤツタイムに、不快指数に負けずお仕事頑張りましょう ^^

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



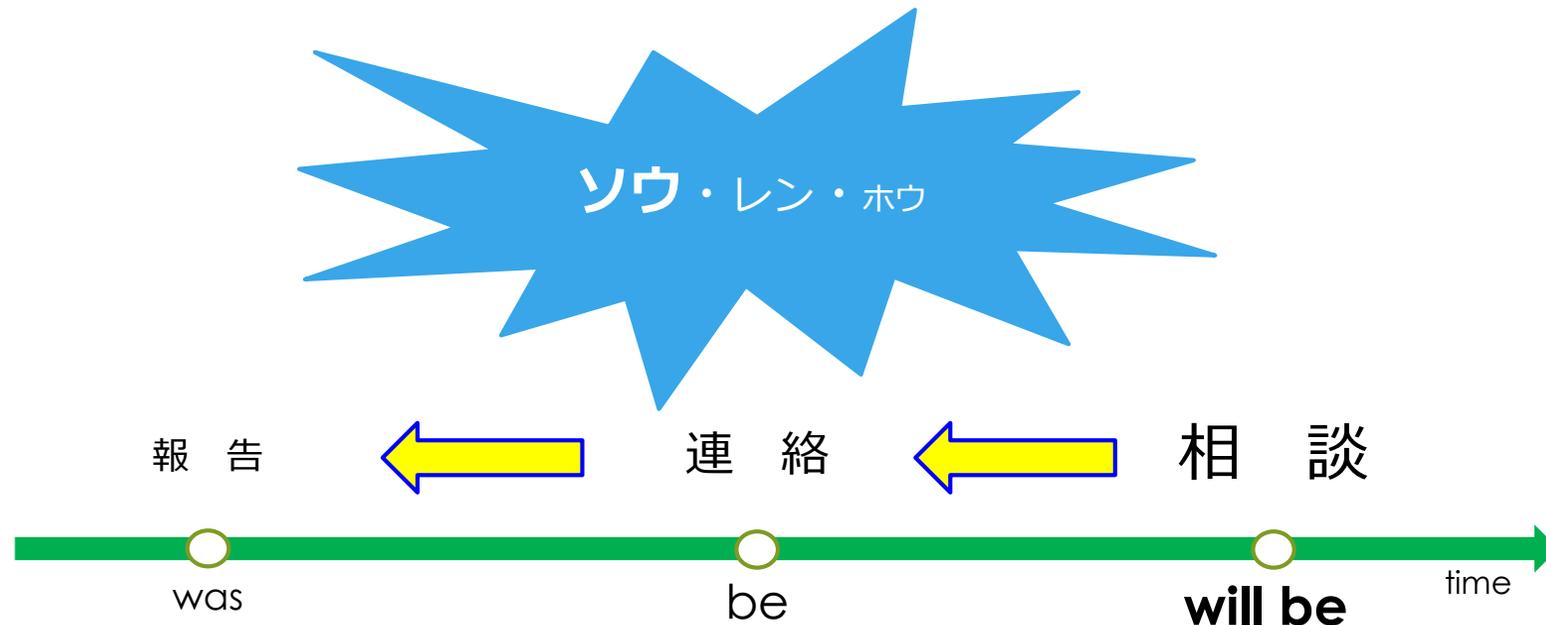
サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



CSR Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

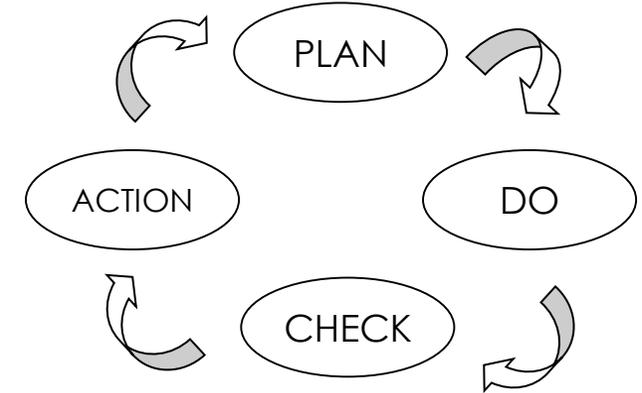
<仕事の段取り 5W2H>
When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、
Why (なぜ)、How (どのように)、How much (いくら)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

TOPICS

マクドナルドの復調



2016年12月期決算で、最終利益が3年ぶりの黒字になった日本マクドナルドホールディングス。一時はそのブランドイメージを失墜させていた同社だが、ここにきて業績は盛り返している印象だ。

2014年に起こった期限切れ鶏肉使用問題など不祥事が相次ぎ、消費者からの信用がマイナスへと大きく傾いていたマックは、どのようなビジネスリカバリープランを立てたのだろうか。

「マックに、何故一度離れた客が再び店舗に戻ってきた？ 意外な外的要因による悪いイメージ払拭戦略」におけるマック復調の要因について分析した。

●いきなり“プラス”ではなく、まずは“ゼロ”を目指す。

「マクドナルドの業績回復をみていると、経営管理における『PDCAサイクル』の大切さを改めて感じます。

マックのビジネスリカバリーの背景には、このサイクルを含めた地道な改善姿勢があったと考えられます」

「社内向けに財務体制の改善を積極的に行ったことありますが、特筆したいのは社外向けの施策でしょう。

マックは第三者機関である『食品安全専門会議』を設置したり、12万人にも及ぶ店舗スタッフに再度の品質管理トレーニングを行ったりしています。他にもウェブサイト上で主要原料の原産国・最終加工国の情報開示をわかりやすく変更したり、『食の安全サミット』を開催したりするなど、顧客への信頼回復と支持獲得のために奔走しました。

さらに『QSC』（『Quality』『Service』『Cleanliness』）による顧客への最高の店舗体験を提供するために、オリジナル清掃アイテムまで開発した点には改善の姿勢がよく表れていたと思います」。このような地道な活動が、信頼回復の最も近道かも知れません。

活動報告

CS PJT 活動報告

【お客様満足度向上のための問題解決】 ありがたい・あるべき姿に向けての問題解決と価値創造

知識・理解・戦略・共有・交渉・説得・KAIZENなど業務遂行に必要な能力は経験で培うだけでなく、『徳のある商人』である意識を持ち、価値的戦略を掲げて以下を遂行することが重要だと考えます。

- ①顧客に高品質なサービス提供（強み、優位性、付加価値）ができる仕組みを構築する
- ②販売促進／売上・利益貢献に繋がるかどうかを意識して取り組む
- ③戦略実行、問題解決に向けた情報共有とコミュニケーションを図る
- ④PDCA/QCDD/5W4H1Rの意識付け、5S活動を実施する

<例>

- ・担当者不在時は緊急対応ができない、サービスの品質が下がるなどの問題点について
→全顧客の業務マニュアル概要をFSL上で管理、関係各部署にて共有化
得意先情報と業務フローに変更があった際は迅速に更新、KAIZENしていく
- ・情報が個人で止まりトラブルが発生する、正しく伝達されない、情報が重複して非効率などの問題点について
→情報の中でも特に不具合内容は個別同士ではなく必ずCS全体⇔関係部署全体に情報を連携
ITと適切に融合しながらシステム運用を定着化させ、可視化して精度UPを図る

日常業務を様々な視点で捉えるとKAIZENの機会が見えてきます。

問題解決の実践の中で新たな価値を見出すことはイノベーションにも繋がっていきます。

問題から逃げずに自分で思考し、いかに問題解決をするのか、価値を見出せるか、これらを推進・実践して顧客満足度向上に繋げていく活動を今後も行って参ります。

CS PJT

河西 宣子

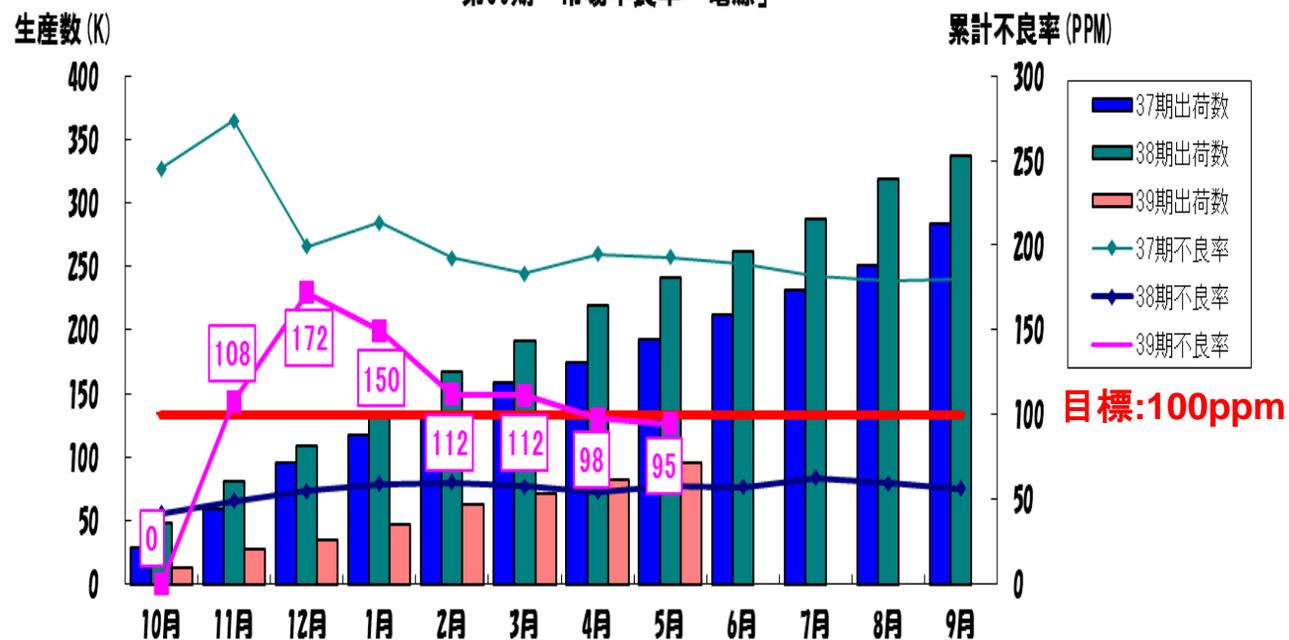
品質状況

納入不良率 目標 100ppm

39期の累計不良率は、95ppmです。

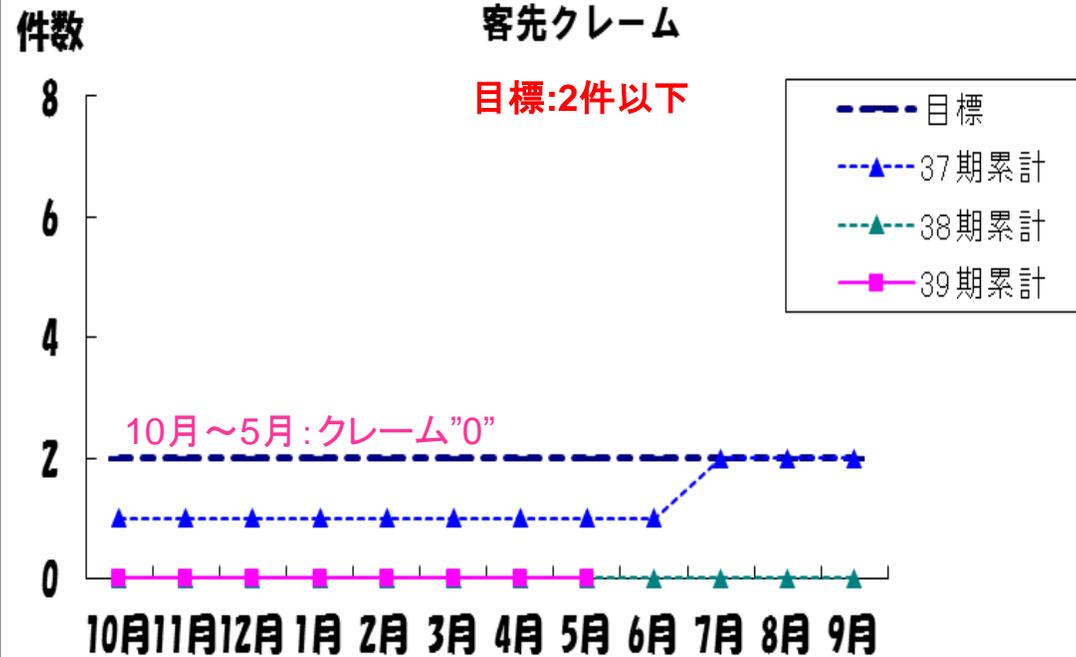
市場不良累計 : 9件 客先クレーム : 0件

第39期 市場不良率「電源」



客先クレーム

目標: 2件以下



CSR Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②TOPICS
- ③廃棄物排出量
- ④コピー用紙使用量
- ⑤電力使用量
- ⑥切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



TOPICS

■ ISO14001定期審査が行われました (SSD,SKW)

6月21日、22日の2日間、2017年度のISO14001定期審査を実施致しました。今年は定期審査の為サンプリングによる審査の実施となり、審査対象はサンシン電気本社・新光和で行われることになりました。前年度指摘事項の是正処置、法的要求事項を逸脱していないか、記録の管理など環境マネジメントマニュアルが正しく運用されているかどうか（マニュアルにより宣言したことが手順通り行われているか）、が審査されました。審査結果はSSGの環境マネジメントマニュアルはISOの要求事項に継続的に適合され、適切に維持されていることが認められました。後日、認証期間の延長（維持）が正式に決定される見通しです。これも皆様の普段からの活動が認められた結果です。また継続に向けた取り組みも引き続き宜しくお願い致します。

■ ISO14001の規格改定について

ISO14001の規格改定に伴い、SSGでも来年の審査にて新規格（ISO 14001:2015）への移行致します。CSR Report4月号のTopicsにも掲載されておりますので、再度ご確認をお願い致します。

● ISO14001規格要求事項/2015年度版と2004年度版の比較 (CSR Report4月号より抜粋)

改訂版 (ISO/FDIS14001:2015)	旧規格 (ISO14001:2004)				
0.序文		6.1.1 一般	-	7.5.1 一般	4.4.4 文書類
1.適用範囲	1.適用範囲	6.1.2 環境側面	4.3.1 環境側面	7.5.2 作成及び更新	4.4.5 文書管理、4.5.4 記録の管理
2.引用規格	2.引用規格	6.1.3 順守義務	4.3.2 法的及びその他の要求事項	7.5.3 文書化した情報の管理	4.4.5 文書管理、4.5.4 記録の管理
3.用語及び定義	3.用語及び定義	6.1.4 取組みの計画策定	-	8.運用	4.4. 実施及び運用
4.組織の状況		6.2 環境目的及びそれを達成するための計画策定	4.3.3 目的、目標及び実施計画	8.1 運用の計画及び管理	4.4.6 運用管理
4.1 組織及びその状況の理解		6.2.1 環境目標	4.3.3 目的、目標及び実施計画	8.2 緊急事態への準備及び対応	4.4.7 緊急事態への準備及び対応
4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解		6.2.2 環境目標を達成するための取組みの計画策定	4.3.3 目的、目標及び実施計画	9.パフォーマンス評価	4.5 点検
4.3 環境マネジメントシステムの適用範囲の決定	4.1 一般要求事項	7.支援	4.4. 実施及び運用	9.1 監視、測定、分析及び評価	4.5 点検
4.4 環境マネジメントシステム	4.1 一般要求事項	7.1 資源	4.4.1 資源、役割、責任及び権限	9.1.1 一般	4.5.1 監視及び測定
5.リーダーシップ		7.2 力量	4.4.2 力量、教育訓練及び自覚	9.1.2 順守評価	4.5.2 順守評価
5.1 リーダーシップ及びコミットメント		7.3 認識	4.4.2 力量、教育訓練及び自覚	9.2 内部監査	4.5.5 内部監査
5.2 環境方針	4.2 環境方針	7.4 コミュニケーション	4.4.3 コミュニケーション	9.3 マネジメントレビュー	4.6 マネジメントレビュー
5.3 組織の役割、責任及び権限	4.4.1 資源、役割、責任及び権限	7.4.1 一般	4.4.3 コミュニケーション	10.改善	-
6.計画	4.3 計画	7.4.2 内部コミュニケーション	4.4.3 コミュニケーション	10.1 一般	-
6.1 リスク及び機会への取り組み		7.4.3 外部コミュニケーション	4.4.3 コミュニケーション	10.2 不適合及び是正処置	4.5.3 不適合並びに是正処置及び予防処置
		7.5 文書化した情報	4.4.4 文書類	10.3 継続的改善	-

TOPICS

■ ドイツ・ハンブルク港の現状～将来を握るエルベ川浚渫～

先の2月9日、最高裁のドイツ連邦行政裁判所（ライプツィヒ）は、エルベ川下流域の浚渫を条件付きで承認する判決を下しました。現在、ハンブルク港を常時通航できる船舶の最大喫水は12.5m。そこで、ハンブルク港は、メガコンテナ船が同港へ常時入港できるようにするため、この喫水制限を1m深くし、常時、最大喫水13.5m（満潮時は最大喫水14.5m）の船舶が通航できるように浚渫を行う計画を策定していました。ところが、このエルベ川の浚渫計画は、動植物の生態系や水質への悪影響を懸念する環境保護団体等の強い反対があり、これら団体からの提訴を受け、2012年には連邦行政裁判所から工事差止の仮処分命令も出され、係争が続いている経緯があります。

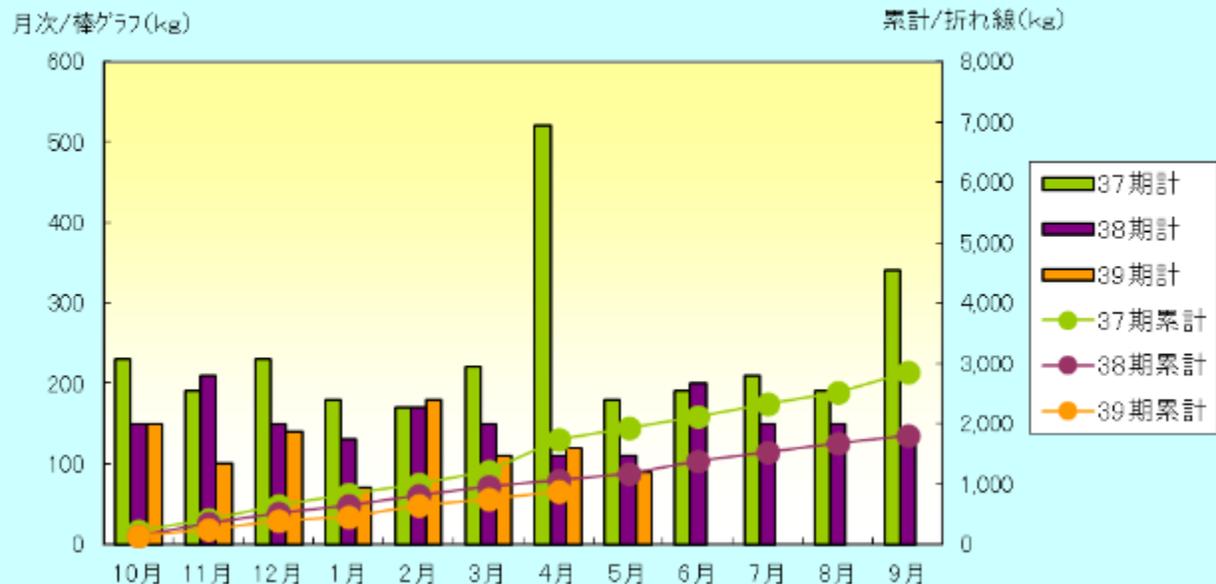
ハンブルク港は、北海に注ぐエルベ川河口から直線距離で約100km、航路距離で約130kmの内陸にある河川港です。同港は1189年に開港、ハンザ同盟の最も重要な北海沿岸港として栄え、現在は鉄道や高速道路網も充実し、中・東欧やバルト海諸国をむすぶドイツ最大の港湾かつ物流拠点として発展してきました。一方、現下の海運界ではコンテナ船の巨大化が進み、特にアジア－欧州航路ではメガコンテナ船の利用が進み始めています。また、欧州主要港の2016年のコンテナ貨物取扱量をみると、ロッテルダム港は前年比1.2%増の1,240万TEU、アントワープ港が同4.2%増で初の1,000万TEU超えとなる1,005万TEU、そしてハンブルク港は同1.0%増の890万TEU（輸入460万TEU、輸出430万TEU）でした。ハンブルク港は2015年の前年比マイナス9%から盛り返したものの、数年前に欧州2位の座を奪われたアントワープ港との差はその後も開いているという現実もあります。

国際競争、経済発展、雇用確保―これらと環境保護とをどう調和を図っていくか。今回の最高裁の浚渫工事の承認も、稀少生物保護措置等を行うなどの条件付きであり、今後、想定130kmにわたるエルベ川下流域の浚渫が進むのか、再び頓挫することになるのか、果たしてドイツは高度な判断が求められるこの浚渫問題を最終的にどう着地させるのか。そこにエルベ川河口から内陸に位置するハンブルク港の将来を握る行方がかかります。

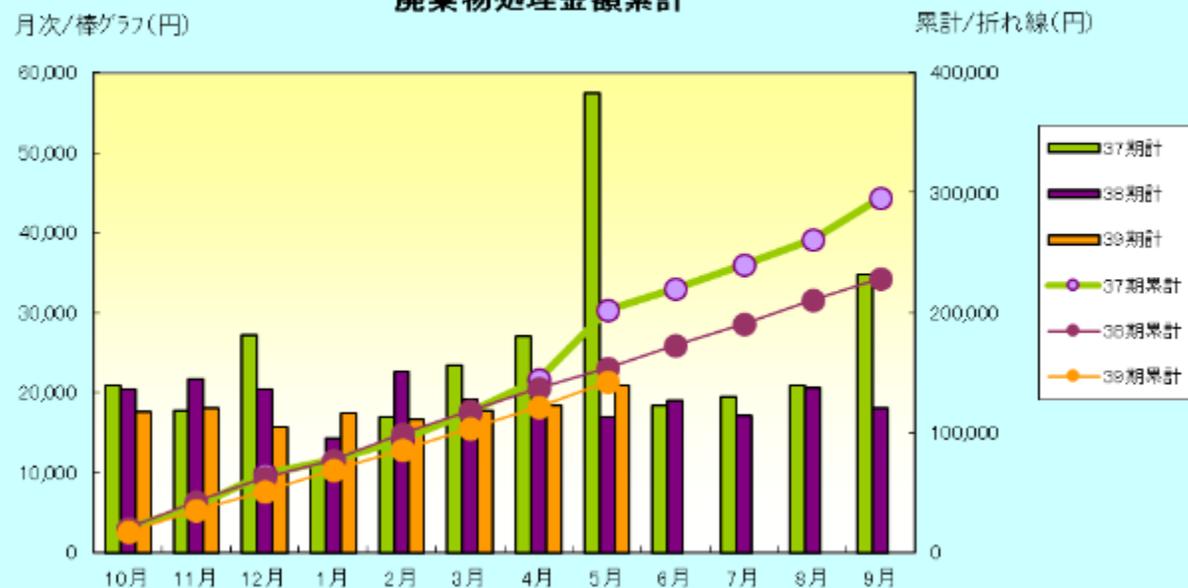
- ・浚渫（しゅんせつ、dredging）：港湾・河川・運河などの底面を浚（さら）って土砂などを取り去る土木工事のこと
- ・TEU（英語：Twenty-foot Equivalent Unit）：サイズが標準化された金属製の箱であるISOコンテナのうち、20フィートコンテナ1個分の単位



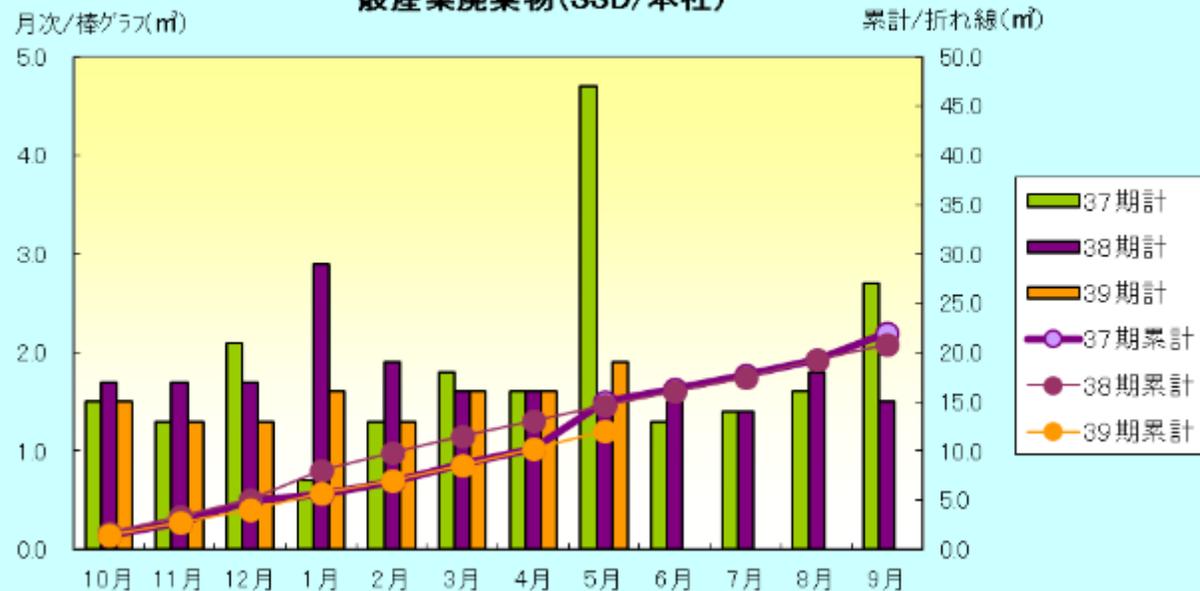
一般廃棄物(SSD/本社)



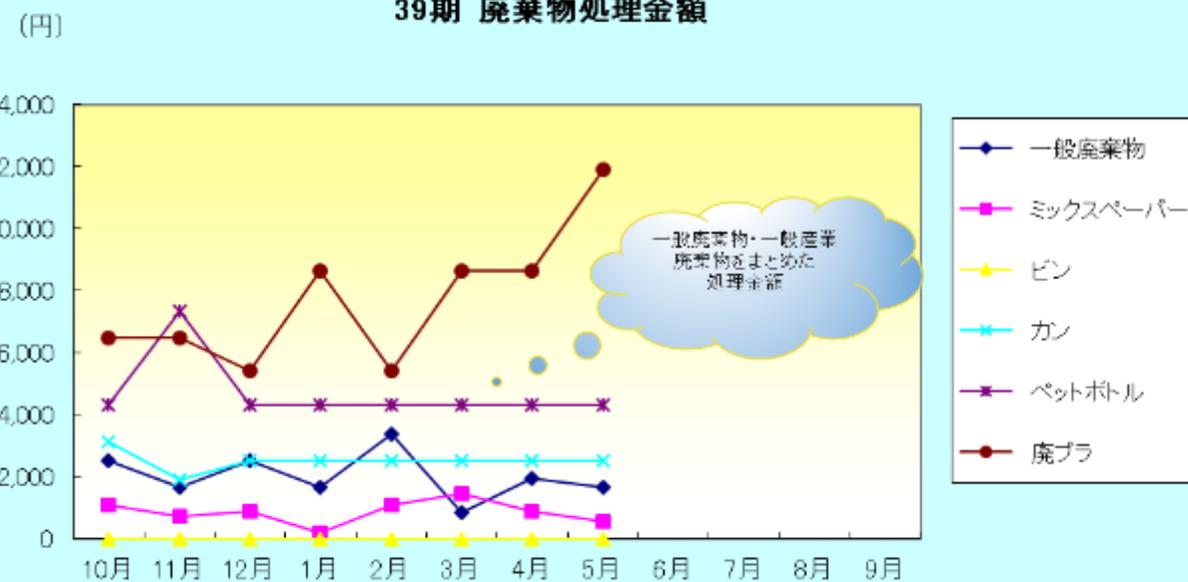
廃棄物処理金額累計



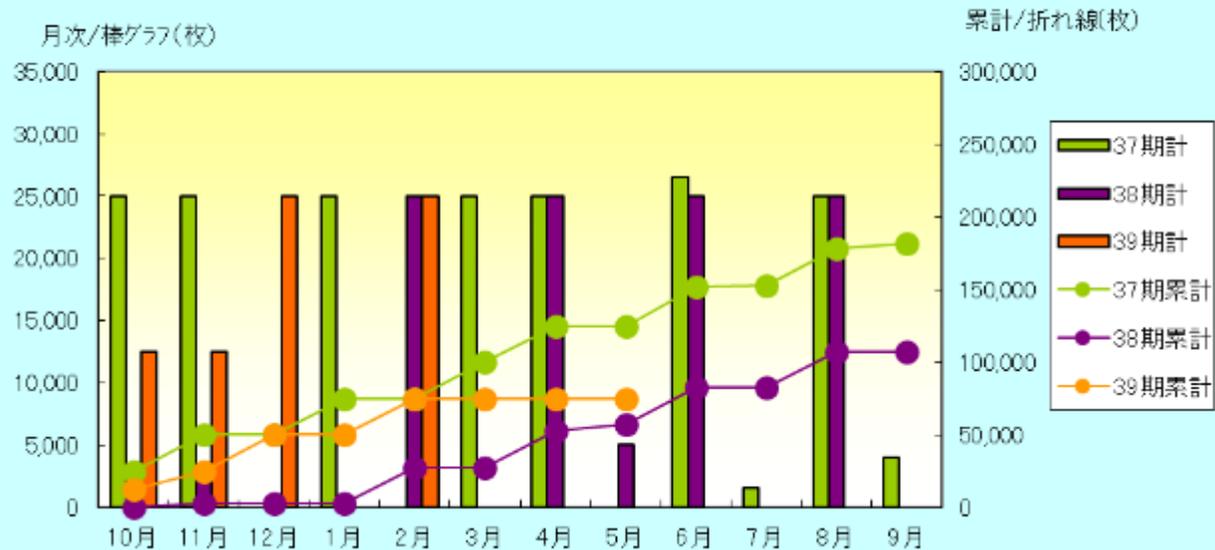
一般産業廃棄物(SSD/本社)



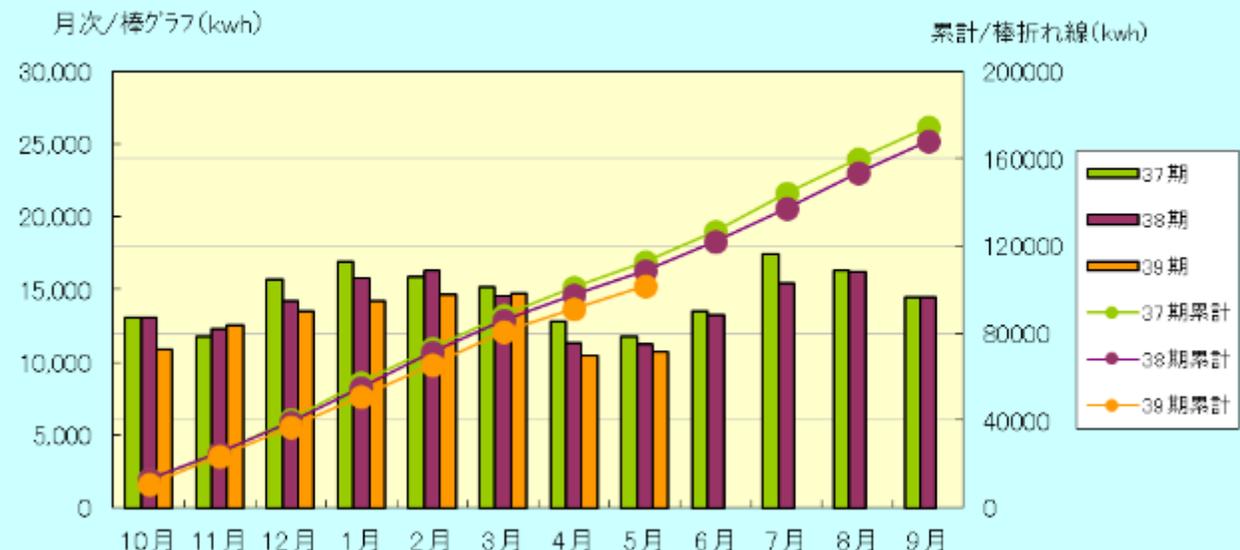
39期 廃棄物処理金額



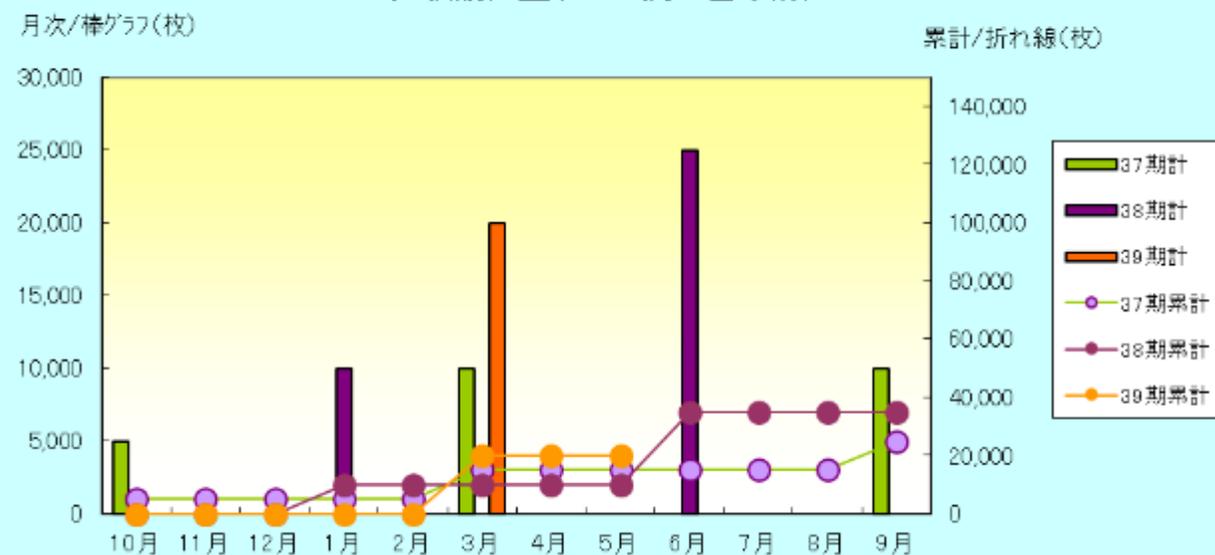
コピー用紙購入量(SSD/本社)



電力使用量(SSD/本社)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)



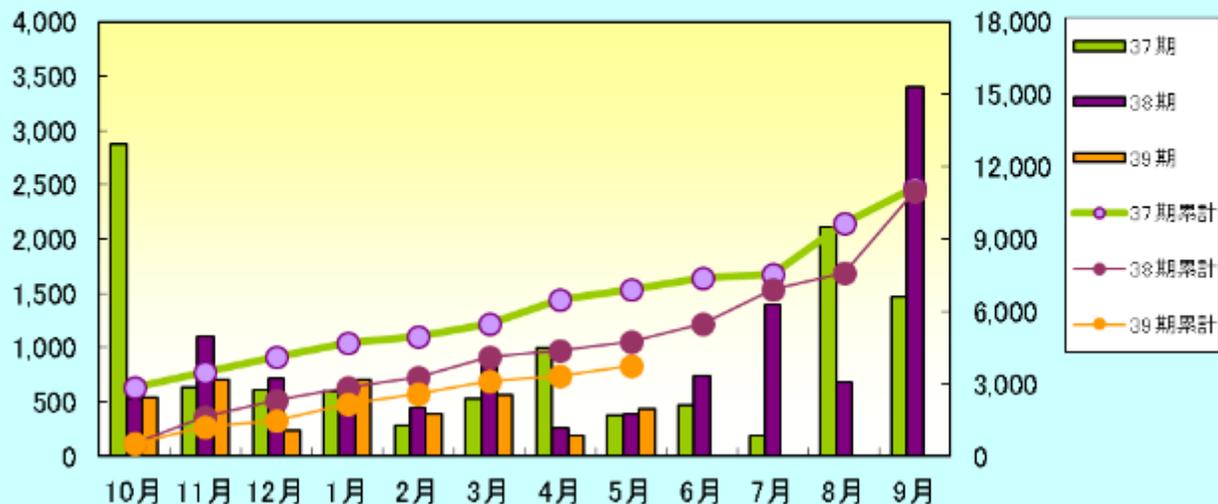
電力使用量(SSD/関西営業所)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

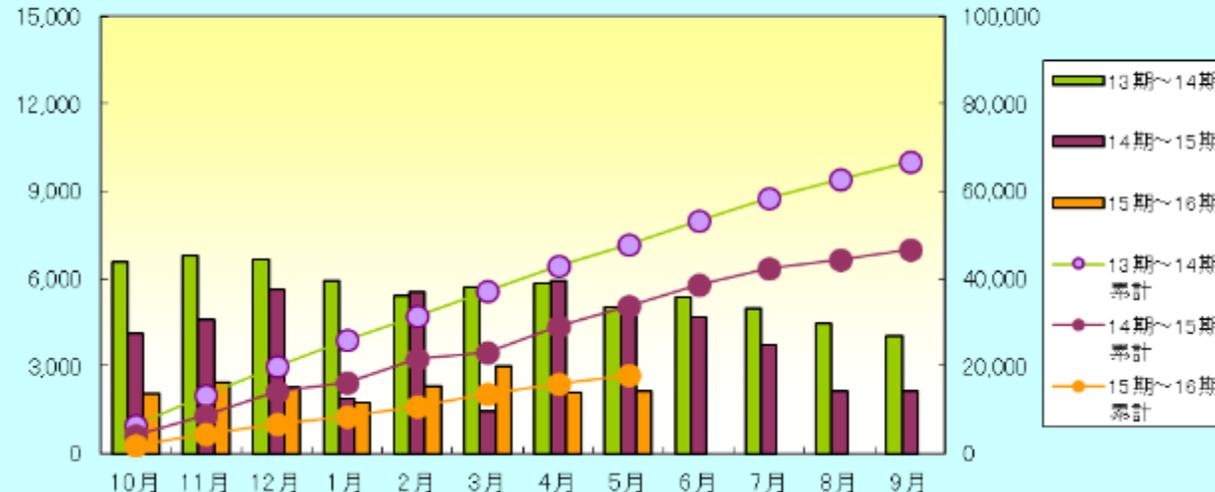
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

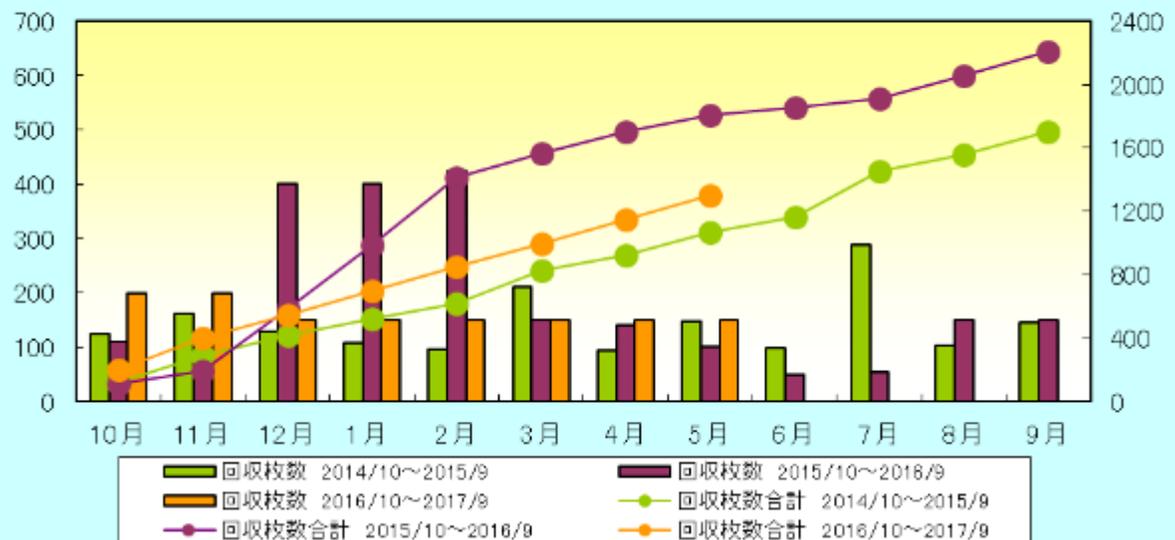
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

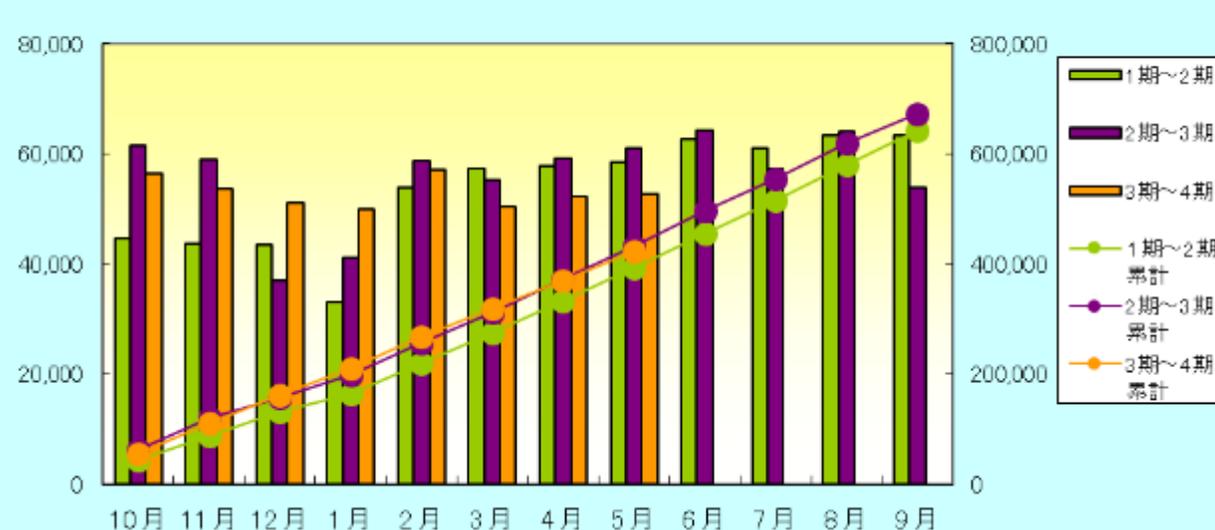
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



CSR Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

活動報告

- ①TOPICS
- ②地域貢献活動
- ③ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ④人財育成への取り組み

TOPICS

●「健康優良企業・銀の認定証」を取得しました！

「従業員の健康は企業の誇り、活気ある職場は従業員の健康づくりから」をスローガンに、全国健康保険協会・東京支部が、企業全体で健康づくりに取り組むためのサポートをしています。

サンシン電気は、2016年10月に「健康企業宣言」をスタートし、100%の健康診断の受診や、「食」「運動」「禁煙」を中心に、毎月各種健康に関する情報の提供や水素水サーバーの設置（本社）等様々な取り組みを実施してきました。これにより、都内で現在294社ある「健康企業宣言」実施企業のうち、19社目としてサンシン電気は「銀」認定されました。

「銀の認定証」は1年ごとの申請・更新が必要です。一度取得すればそれでよい、というものではありません。社員ひとりひとりが自主的に健康管理をし、継続してヘルスリテラシーの向上に努め、心身ともにワーク・ライフ・バランスの充実を図っていくことが大切です。

COST CENTRE, ADM.PJT 真船悠子



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（5月参加人数：延べ16名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（シグマ・フード・サービス）
- 動物介在ボランティア活動実施（シグマ・フード・サービス）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ（5月：端午の節句飾り）



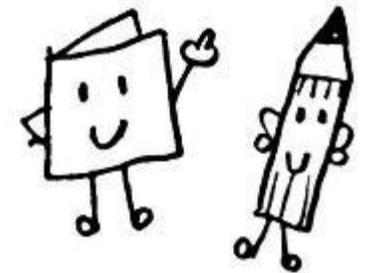
ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績4名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績4名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養してる社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月1回、マッサージ・リフレクソロジーサービスを実施（女性を中心に毎月10名参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コース1（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2017年5月）



人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・英会話・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAを全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能



編集
後記

SSD COSTCENTRE 吉田 裕亮

いよいよ関東地方も梅雨入りとなり、東京もジメジメした日が続いています。6月というと雨が多いイメージがありますが、実は関東地方で最も降水量が多い月は9月だったり、札幌の6月は年間で一番降水量が少なかったりと地域によっても違いがあるようです。北海道から沖縄まで、気候により根付いた文化の違いなども日本の魅力なのかもしれません。ただ、皆様、熱中症にはご注意ください！